



The Y's Men's Club of Gotemba

第303号 8月例会

国際会長主題	「とにかくやろう一成せば成る」〈信念をもって使命をはたそう〉
アジア会長主題	「とにかくやろう一成せば成る」〈信念をもって使命をはたそう〉
東日本区理事主題	「ワイズライフを楽しもう！そして飛躍を」
富士山部部長主題	「ワイズ活動・笑顔で参加」
御殿場クラブ会長主題	「みんなで集い、楽しく奉仕！-ワイズライフを生きがいの一」
御殿場クラブ 基本方針	1. ワイズライフを通して有意義な人生を

会 長	石田 恩
副会長	高杉 寿徳
書 記	杉山 将己
会 計	金光 京子
監 事	田代 泉

1. YMC Aに対する理解を深めYMC Aを通して奉仕をしよう
1. 東山荘との共働を深めよう
1. メンバーの増強をしよう
1. DBCの交流を深めよう

今月の聖句

ヨハネによる福音書 17章 21節

『父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。』

2011年8月度第一例会プログラム

と き	2011年8月11日(木) 18:30より	
と ころ	YMCA 東山荘	
受 付	金光 京子 Y's 駒谷 敬子 Y's	
司 会	井田 伸太郎 Y's	
1 開会点鐘	会 長	
2 開会の言葉	司 会	
3 ワイズソング	司 会	
4 ワイズの信条	司 会	
5 聖句について	大和田 浩二 Y's	
6 会長挨拶	会 長	
7 ゲスト・ビジター紹介	会 長	
8 食前の感謝	田代 泉 Y's	
9 卓話「YMCAとワイズについて」	大和田 浩二 Y's	
10 誕生日・結婚記念日祝い	自己申告	
11 スマイル・YMCA基金	会員全員	
12 スマイル・YMCA基金報告		
13 閉会の言葉	司 会	
14 閉会点鐘	会 長	

他クラブ例会日一覧です。

例会日程、時間、場所の変更がありますので、例会参加の場合は長田ドライバー委員長へ連絡の上、ご出席下さい。

熱海クラブ	8月22日(月)	熱海後楽園ホテル
沼津クラブ	8月9日(火)	沼津東急ホテル
湯河原クラブ	8月15日(月)	ホテル城山
伊東クラブ	8月8日(月)	暖香園ボウル
三島クラブ	8月16日(火)	長泉町ベルフォーレ
下田クラブ	8月17日(水)	下田東急ホテル
熱海グロリー	8月24日(水)	熱海 YMCA センター
富士クラブ	8月10日(水)	ホテルグランド富士
富士宮クラブ	8月23日(火)	クリスタルホール『パテオン』
静岡クラブ	8月12日(金)	グランドホテル中島屋

8月お誕生日おめでとう

10日 木村 みつ江メネット

8月ご結婚おめでとう

自己申告して下さい

7月例会報告

在籍数	17名	メネット	3名	スマイル報告	47,170	BF活動切手	0pt
出席者	16名	コメント	0名	スマイル累計	47,170	現金	0pt
メキップ	1名	ゲスト	9名	YMCA基金	0	累計	0pt
出席率	94.1%	ビジター	68名	YMCA累計	0		
修正出席率	100%	出席者合計	96名				

2011年7月度3クラブ合同例会報告

駒谷 敬子

大勢の会員の皆様の笑顔の中例会が始まる。

開会点鐘：新石田恩会長により点鐘。

開会の言葉：鈴木忠雄会長（三島クラブ）により宣言。

ワイズソング：80数名からなる大合唱が大きく響く。

ワイズの信条：杉山道子 Ys（沼津クラブ）がやさしく信条を導いていかれた。

ゲスト・ビジター紹介：高杉寿徳副会長（御殿場クラブ）により大勢のゲスト・ビジターを紹介される。

3クラブ会員の紹介：大勢の各クラブ会員が紹介される。仲間作りの始まりです。

富士山部部長公式訪問挨拶：遠藤利枝子部長就任挨拶。熱海チャリティランの協力を、そして各クラブ楽しい思い出作りのクラブ運営をと願われてご挨拶された。女性初の部長です。

東日本区理事挨拶：河合重三理事により伊東大会を盛り上げていくこと、東日本区の活動は東日本災害の支援を長期にわたり息の長い支援に取り組むと指針を示される。



食前の感謝：芹澤和子 Ys（三島クラブ）が大勢の仲間と楽しく食事ができることに感謝すると………ワインにて乾杯。楽しく和やかな雰囲気の中、おいしい食事タイム、色どり美しく魚料理・肉料理が提供され、幸福な時が流れる。

やまいもバンドによる演奏：井田メネットによりやまいもバンドとのつながりを話され、さわやかな歌声をきいて下さいとグループ紹介があった。

さわやかな歌声と演奏にききいる。5曲もの歌声を披露して下さり、アンコールにヤングマンを大合唱。Y

MCAのふりつけ付きにて、勇気と元気の余韻を残して、また逢いましょうと……すばらしいひとときでした。

入会式（沼津クラブ2名）：曳田卓様・後藤亨様の入会式が大勢の会員の見守る中、厳かな雰囲気の中、入会式が始まる。



長谷川会長の導きによりワイズメンズのお教を朗々と読み上げ、愛の心を持ち、国際的な動きをYMCAに協力を惜しまずに、すばらしい会員の誕生です。

誕生日・結婚記念日：7月に誕生された3名の方々の誕生を祝い、結婚報告発表もあり大きな拍手が起きました。

中嶋さんお幸せに、おめでとうございます。

YMCA基金：多くの献金が集まる。

閉会挨拶：相磯優子副会長（沼津クラブ）より2011年ワイズメンズクラブを盛り上げていきましょう、という挨拶がありました。

閉会点鐘：3クラブ会長により点鐘された。

御殿場クラブ会員全員により皆様をお見送りしました。笑顔の中の散会でした。また会いましょう。

PS.杉山将己 Ys 大きなそして盛りだくさんの大会の司会、お疲れ様でした。

第14回東日本区大会に参加して

広報 田代 泉

6月4日朝5時井田会長宅を出発、到着は8時30分、12時30分開会式、オープニングは北アルプスに行った

と錯覚する様なアルプホルンの演奏。バナーセレモニー、松田俊彦理事より開会宣言、点鐘、ワイズソング、聖書朗読、開会祈祷そして来賓紹介と祝辞、松本市長菅谷昭さん、日本YMCA同盟総主事の島田さん、アジア地域会長高田さん、西日本区理事の仁科さんよりお言葉をそれぞれいただき、メモリアルアワーへ。

東日本区アワー、司会は東日本区書記 田中博之さん。

休憩を挟んで、特別講演の講師は東日本大震災被災者支援と銘打った今大会に最適の、チェルノブイリ原発事故の際に、放射能汚染により甲状腺がん患者が急増していたベラルーシで5年間医療活動を行った現松本市長菅谷昭氏。

講師は冒頭赤澤会長が挨拶だけで良いとの話で引き受けたが、演題をみたら、福島原発事故と子どもたちのこと(チェルノブイリ事故医療支援の経験から)私も2001年6月にベラルーシでの医療活動を終え帰国しましたが、まさか10年後に福島がチェルノブイリと同じような環境になり、日本も放射能の汚染国になるうとは思いませんでした。



休憩を挟んで記念講演

「八ヶ岳のくらしー自然とのかかわりのなかで」

上条 恒彦さん

講師はもともと長野県の生まれ、歌手・俳優生活のかたはら1987年6月に八ヶ岳山麓に移住、農作業等自然との拘わりが多くなった、今回は一人で講演するのではなく、古くからの友人小布施にお住まいの松本クラブの会員北村 豊さんとの対談方式、昔話を話ながら途中ギターを持ったお弟子さんと共奏しながら「花明り」など6曲ほど、美声を聞かせて頂いた。

翌5日表彰式御殿場クラブは達成賞分野でBF・TOF、会員増強事業分野で出席率100%で熱海クラブと共に、永年100%が続いた熱海ガローリーは90%以上であった。国際・交流事業分野でDBC締結賞、地域奉仕事業分野で環境キャンペーン・参加率向上最優賞として井田会長が呼ばれ表彰台上がった。最後に大会旗の引き継ぎ松本より富士山部伊東クラブへ、今大会は種々の意味で参考になる大会であった。以上



「第3回YMCAチャリティラン in 御殿場実施要項」

日時：2011年10月15日(土)

目的：チャリティランを通してYMCA活動を地域に広め、一人でも多くの障害者(障害児)の活動を支援する。

内容：ミニ駅伝大会を行い、参加チーム(協賛金のみの参加も可)の参加費全てを障害児キャンプなどの支援に当てるチャリティランイベントとする。

主催：NPO法人熱海YMCA

共催：日本YMCA同盟国際賛助会、日本YMCA同盟東山荘、Y'sMen'sClub 国際協会東日本区、西日本区、富士山部11クラブ

要望：各クラブより1チーム以上の参加をお願いしたい。《参加費1チーム3万円》

会長の独り言

神様は存在というより働きであると言った人がいます。いい行いの中にこそ神様がおられ、またいい関係の中で神様は働いておられます。人と人、人と自然のいい関係の中に神様はおられます。

神様は愛である聖書には書かれています。(ヨハネ第1の手紙4章)

したがって人や自然といい関係を築くことは神様の愛を實現することになります。そのために具体的に行動することが自分自身真に恵まれた豊かな人生を送ることにつながります。

例えば次の4つのことを意識してまずメンバーの中で、例会の中でやってみましょう。

- ① 相手の言葉をまず聴きましょう。
- ② 自分から心を開き正直にあるがままの自分をだしましよう。
- ③ いい言葉をかけましょう。ありがとう。すみません。よかったね等。
- ④ いっしょに食事をしましょう。

この4つのことが愛 (LOVE) につながります。

石田 恩



3. 11の震災から早4ヶ月以上も過ぎてしまいました。しかし震災に遭われた方々は今でもいろいろな心配事で立ち直れない人たちが沢山いらっしゃいます。私の知り合いの方のお姉さんも小名浜から一時三島に非難していましたが生活のこともあり一ヶ月位で小名浜に戻り、そこで取れた野菜を食べ「もう年だから何があっ

ても仕方ない」とご夫婦で暮らしております。

放射能を恐れる事もできず諦めて生きていかなければならない人たちのことを思うと、本当に申し訳ないような気持ちになってしまいます。

今、私たちの出来ることはワイズメンズクラブを通しての義援金や義援金目的のコンサート等にワイズメンバーの方々に出席いただいたりとして少しでも何かお役にたてる様に微力ながらも頑張りたいと思っております。

今回の震災で東北の皆様には本当に教えられる毎日でした。たぶんこれからもそうだと思います。復興には何年もかかるでしょうけど、私達一人一人が忘れることなく、長く見守ることが大切だと感じております。

特に孤児になってしまった子供たちには胸が痛みます。もっと日本全体が元気を取り戻して子供たちの将来が明るく安定します様に、今出来ることをして行きたいです。

前原 末子

BF便り

2011年8月31日集計分

不要になったものを再生する機能を十分に発揮して？当クラブではプルリング（プルタブ）や使用済み切手の収集を心がけています。

今月は金光メンが4000グラムのプルリングを、また、井田メンが使用済み切手をそれぞれ持参してくださいました。

手紙が来たらず先ず切手を・ジュースやビールを飲んだら先ずプルリングを・・・合言葉に収集を！！

住所 〒412-0024 静岡県御殿場市東山 1052 (財)日本YMCA同盟国際研修センター 東山荘 <http://www.ymcajapan.org/tozanso/>

office YMCATOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 tel 0550-83-1133 fax 0550-83-1138 e-mail tozanso@ymcajapan.org

第一例会
会場

第二木曜日 PM6:30
YMCA 東山荘

第二例会
tel 0550-83-1133

第四木曜日 PM7:00
fax 0550-83-1138